



令和 7 年度
滝沢地域社会報告書
Takizawa benchmark report

はじめに

● 「第2次滝沢市総合計画」は、市民のみなさんの協力と参画によって策定されました。

令和6年度からスタートした第2次滝沢市総合計画は、市政懇談会や「市長と話そう」などで市民の皆様からいただいた「やさしさに包まれたまち」のイメージに関する御意見や、市が継続的に実施している「たきざわ幸福実感アンケート」の結果等を踏まえて策定したものです。本計画は、市の将来像である「誰もが幸福を実感できる活力に満ちた地域」の実現に向け、市民と市行政が協働して取り組む施策や取組の方向性を体系的に示した地域社会計画です。計画期間は、令和6年度から令和13年度までの8年間です。

● この報告書は、総合計画の取組効果の測定や、実現に向けた進捗度を共有するため作成しています。

第2次滝沢市総合計画では、基本構想が目指すまちの姿を「やさしさに包まれた滝沢」と定め、社会的包摂性の高い地域づくりに向けて、市民と市行政が協力して取り組むこととしています。また、総合計画では、取組の効果や将来像の実現に向けた進捗状況を把握するため、16項目の「たきざわやさしさ指標」と目標値を設定しています。この報告書は、「たきざわやさしさ指標」の現状値を取りまとめ、市民の皆様にお知らせすることにより、総合計画に基づく取組の効果や進捗状況を広く共有するために作成するものです。

※「社会的包摂性」とは、年齢、性別、障がいの有無等にかかわらず、誰もが地域社会の一員として互いに支え合い、孤立することなく安心して暮らせる状態をいいます。

● 「人とのかかわり」を育み、「市民主体の地域づくり」を進めていきましょう。

滝沢市の将来像である「誰もが幸福を実感できる活力に満ちた地域」を実現するためには、市民一人ひとりが地域に関心を持ち、主体的に地域づくりに関わっていくことが重要です。この報告書を多くの市民の皆様にお読みいただき、家族、地域の方々、市行政の職員等とのつながりを深めるきっかけとさせていただくとともに、お住まいの地域における課題の解決や、やさしさの循環が生まれる地域づくりに向けた取組の一助となれば幸いです。



第2次滝沢市総合計画の進捗状況をあらわす「たきざわやさしさ指標」のうち、変化のあった指標15項目中、14項目（約93%）が基準値から上昇しました。さらに、うち8項目で令和9年度目標値を達成しました。

“将来像指標”【3ページ～】

2つの将来像指標「滝沢で幸せに暮らしている人」の割合、「滝沢は活力に満ちた地域だと感じている人」の割合の両方の値が基準値より上昇しました。さらに、「滝沢は活力に満ちた地域だと感じている人」の割合（令和7年度実績35.7%）は令和9年度目標値（35.0%）を達成しました。

“市民のかかわり指標”【4ページ～】

8つの市民のかかわり指標のうち、主観的指標である5つの指標すべて（「自分が誰かを支えうる存在であると感じている」、「周囲の人たちとお互い様の関係性がある」、「地域の居心地が良いと思っている」、「積極的に挨拶を交わす人が多いと感じている」、「人々が集まり活動できる場がある」）と、客観的指標である「市内公共施設利用者数」の合計6つの指標が基準値より上昇しました。さらに、「人々が集まり活動できる場があると感じている人の割合」は令和9年度目標値を達成し、客観的指標の「市内公共施設利用者数」は令和9年度および令和13年度目標値をともに達成しました。

“暮らしやすさ指標”【6ページ～】

7つの暮らしやすさ指標のうち、主観的指標である5つの指標すべて（「心身ともに元気に暮らせている」、「働く場があると感じている」、「困っている人の声が届きやすいと感じている」、「滝沢市は住みやすい市だと感じている」、「子ども達が生き生きとしていると感じている」）と、客観的指標である「一人当たり課税対象所得額」の合計6つの指標が基準値より上昇しました。さらに、そのうちの5つの指標（「心身ともに元気に暮らせている」、「働く場があると感じている」、「困っている人の声が届きやすいと感じている」、「子ども達が生き生きとしていると感じている」および「一人当たり課税対象所得額」）が令和9年度目標値を達成しました。

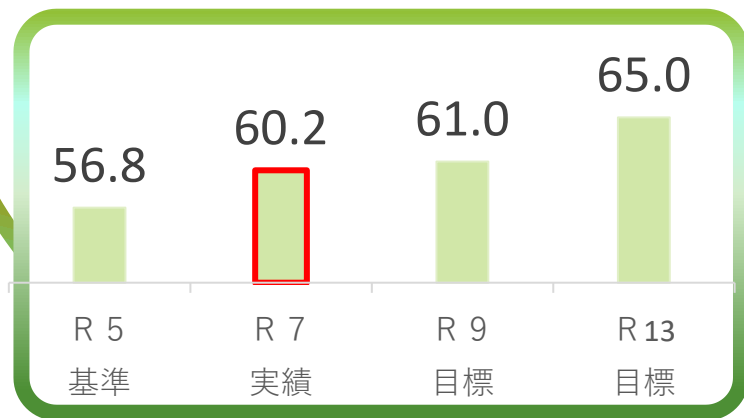


健康や働く場などに関する指標が令和9年度目標値に到達する一方、人との支え合いや関係性に関する指標には未達成のものがみられます。また、全国的に人口減少が進む中、本市でも人口が減少しており、その抑制が課題です。人とのかかわりや支え合いを育み、安心して自分らしく暮らせる環境づくりを通じて、住み続けたいと思う人や本市を暮らしの場として選ぶ人を増やし、「やさしさに包まれた滝沢」の実現と令和9年度の目標達成に向けた取組を進めます。

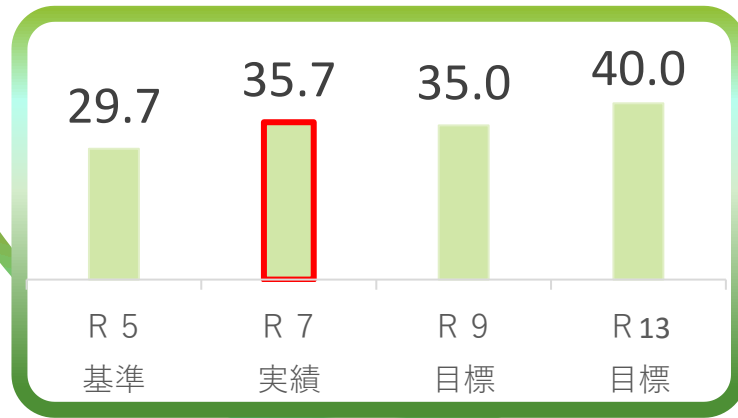
指標推移

将来像指標

滝沢で幸せに
暮らしている人
+ 3.4pt (基準比)



滝沢は
活力に満ちた地域だ
と感じている人
+ 6.0pt (基準比)



【出典】

たきざわ幸福実感アンケート調査における「滝沢市での暮らしは幸せですか」の質問に「幸せ」又は「やや幸せ」と答えた人の割合の合計

【出典】

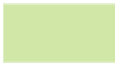
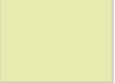
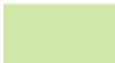
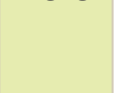
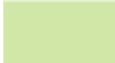
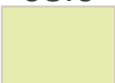
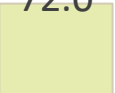
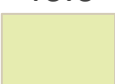
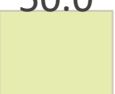
たきざわ幸福実感アンケート調査における「滝沢市は活力に満ちた市だと感じていますか」の質問に「はい」と答えた人の割合

指標推移

市民のかかわり指標

主観的指標

基準値はR5数値

指標項目	増減	基準値	R7実績	R9目標	R13目標
自分が誰かを支える存在であると感じている	+3.5pt (基準比)	58.1 	61.6 	62.0 	66.0 
周囲の人たちと「お互い様」の関係性がある	+2.2pt (基準比)	69.6 	71.8 	73.0 	76.0 
地域の居心地が良いと思っている	+3.6pt (基準比)	63.4 	67.0 	68.0 	72.0 
積極的に挨拶を交わす人が多いと感じている	+3.1pt (基準比)	39.0 	42.1 	44.0 	48.0 
人々が集まり活動できる「場」がある	+3.9pt (基準比)	43.1 	47.0 	46.0 	50.0 

【出典】
たきざわ幸福実感アンケート調査

指標推移

市民のかかわり指標

客観的指標

基準値はR5数値

指標項目	増減	基準値	R7実績	R9目標	R13目標
直近の市議会議員選挙の投票率※ 1		43.28 		50.00 	55.00
直近の市長選挙投票率※ 2		44.49 		50.00 	55.00
市内公共施設利用者数※ 3	+144,229人 (基準比)	726,020 	870,249 	785,500 	805,500

※ 1
基準値はR5実施時のもの。以降、市議会議員選挙は行われていない

※ 2
基準値はR4実施時のもの。以降、市長選挙は行われていない

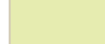
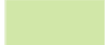
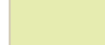
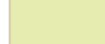
※ 3
市内公共施設（ビッグルーフ滝沢、北部コミュニティセンター、滝沢ふるさと交流館、葉の木沢山活動センター、地区コミュニティセンター及び市内体育館）

指標推移

暮らしやすさ指標

主観的指標

基準値はR5数値

指標項目	増減	基準値	R7実績	R9目標	R13目標
心身ともに元気に暮らせている人	+4.5pt (基準比)	56.3 	60.8 	59.0 	62.0 
働く場があると感じている人	+3.2pt (基準比)	22.1 	25.3 	25.0 	28.0 
困っている人の声が届きやすいと感じている人	+4.7pt (基準比)	24.5 	29.2 	28.0 	31.0 
滝沢市は住みやすい市だと感じている人	+2.5pt (基準比)	68.3 	70.8 	72.0 	75.0 
子ども達が生き生きとしていると感じている人	+3.7pt (基準比)	42.6 	46.3 	46.0 	50.0 

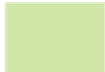
【出典】
たきざわ幸福実感アンケート調査

指標推移

暮らしやすさ指標

客観的指標

基準値はR5数値

指標項目	増減	基準値	R7実績	R9目標	R13目標
人口（岩手県毎月人口推計における毎年度10月1日時点の滝沢市の人口推計値）	△1,436人 (基準比)	55,467 	54,031 	55,500 	55,500 
一人当たり課税対象所得額※1	+123千円 (基準比)	2,624 	2,747 	2,700 	2,800 

※1

市民税課税の対象所得額（非課税者を除く。）を納税義務者の人数で除して得た金額
（翌年度の6月末日現在）



令和 7 年度 滝沢地域社会報告書

Takizawa benchmark report

<編集・発行>

令和 8 年 9 月発行

滝沢市企画総務部企画政策課

〒020-0692 岩手県滝沢市中鵜飼55番地

電話 019-684-2111 (代表)

メール kikaku@city.Takizawa.iwate.jp